

## 第5回 習志野市次期基本構想・基本計画策定市民会議 会議概要

日 時：平成24年10月6日（土曜） 10時00分から13時00分まで

場 所：習志野市 仮庁舎3階大会議室

議 事 録：

|  |   |
|--|---|
| <b>議<br/>題<br/>及<br/>び<br/>会<br/>議<br/>の<br/>概<br/>要</b> | <p><b>【議題】</b></p> <p>開 会<br/>    ワークショップ<br/>        ・テーマ「子育て・教育・学習」<br/>閉 会</p> <p><b>【会議の概要】</b></p> <p>《ワークショップ》<br/>    [危機管理・安全対策・都市基盤整備・環境政策]<br/>    (1) ワークショップ結果<br/>        別紙の通り。</p> |
|--|---|



習志野市次期基本構想基本計画策定市民会議  
第4回ワークショップ テーマ：『子育て・教育・学習』

日時：10月6日（土）10：00～13：00

場所：習志野市役所 庁舎分室 京成津田沼サンロード6階大会議室

出席者：五十嵐理恵子委員・井上昇二委員・江口幸恵委員・小原松枝委員

金子美代子委員・工藤光明委員・櫻井ますみ委員・佐藤淳委員・佐野正孝委員

平川嘉伸委員・松野さやか委員・安武みな子委員

欠席者：菊地大委員・近藤鈴奈委員・斉藤大貴委員・澤根正好委員・高島満子委員

苗村教子委員

## A班報告(リーダー:佐藤委員)

### 【子育て・子育て支援】

大きく分けて五個出ました。一つずつ紹介させていただきますと、まず育児・保育に老人パワーの活用方針が無いことで、こちらはお年寄りが子どもと触れ合えるような場を提供していきたいと考えています。当然、今の時代ですから、老人が勝手に子どもの手を引っ張っていると怪しまれますから、ルール作りを市の方で積極的に検討されては如何かと思えます。市民の方としましては、保育に老人パワーをもって参加していくといったところになります。

二点目ですが、親の交流・情報交換が進んでいない、あと三歳児の子どもの行き場がなくなっている、コミュニティが分からない、こちらは色々な施設は提供して頂いているのですが、屋内施設から屋外へ出る、いわゆる公園デビューといったところですが、そういったところが良く分からないという意見がありました。あと昔ですが、毎月乳児の身長・体重を計ってもらう機会があつて、そこで交流やママ友が出来たといったことがありましたが、今はなくなっているということが課題です。それに対して、市として一方的な情報発信、要は「広報紙で出ていますよ。」と言うだけではなく、何か質問があつた時にアンサーが出来るような取り組みを検討してもらいたいと思えます。あとは、コミュニティの場をもっと広く提供をお願いしたいといったところになります。市民レベルですと、ネットワークづくりや自発的な行動、あと一番重要なツールである広報紙をチェックし、情報収集するといったところ、あと、子育てはやはり親と地域が責任をもって行うといったところになります。

三点目は、公園の制限が多すぎるということで、例えば「ボール遊びは駄目」、「木にハンモックをつるすのは駄目」と、少し我々の世代では考えにくいようなことが起こっているようです。市にはそういった制約を少なくして頂きたいという要望になるのですが、市民としては、やはり市が制限することには原因がありまして、声の大きい方がどうしても

苦情を入れるといったことになりますので、もっと子どもに寛容になり、地域住民も一緒に子育てをしていく、また昔いた頑固親父ではありませんが、制限する前にちゃんと怒り、この悪い負のスパイラルを是非脱却していきたいといった意見です。

四点目ですが待機児童、習志野市の保育所待ちが今41名とのこと。こちらは市として対応を是非検討して頂きたいといったところ。その一つとしては、今やはりお年寄りの力というのが非常に大事になっていますので、そういった力を利用して、例えば短時間保育でお年寄りに活躍して頂く、市民は今市の方でせっかく作って頂いたファミリーサポートという制度がありますので、こちらを積極的に活用して頂ければ良いと思います。

五点目ですが、医療費の助成が習志野市にあるのですが、年齢の引き上げをお願いしたいと思います。こちらは市として検討して頂きたいところなのですが、市民の方はやはり実際今300円という金額で、市販の薬より安くなってしまいました。そうすると、出た意見の一つとして、虫さされでも病院に行くという人もいらっしゃいますので、その辺は市販との関係を踏まえて、出来ればあまり上がってほしくないのですが、上がったものを中学生や高校生の方に回して頂くという良いのではないかと意見が出ました。

#### 【学校・幼児教育】

意見が六点出ました。

まず、一つ目が、学社融合の広まり方針が見えないとのこと。この学社融合というのは工藤委員が調べてくれたのですが、秋津コミュニティが1997年に学校を開放して社会と融合させるという取り組みをやり、表彰までされたことがあるそうです。私もこの場で知ったのですが、せっかくそういった取り組みがちゃんと習志野市でされていますので、こういったものを方針化して是非広めて頂きたいといったところになります。

二点目ですが、家庭教育学級は大変ありがたいのですが、人数の枠とか回数の制限があるそうなので、是非増やして頂きたいと思います。増やして頂ければ、今枠外の方もいらっしゃいますから、その方も積極的に参加するだろうという意見がありました。

三点目ですが、図書館の本が充実しているのは嬉しいのですが、特色のある蔵書集めがあっても良いのではないかと意見がありました。習志野市は残念ながら他市に比べると、基幹図書館というものが無いと思います。そこで専門書等を増やすなど、一か所基幹レベルの図書館を是非検討して頂けないかと考えています。そういったものがあれば、もっと積極的に市民は利用していくことになると思います。

四点目ですが、学校給食の食器を幼稚園や保育所と同じようにしてほしいとのこと。実は保育所や幼稚園の食器は別々ですが、小学校ではワンプレートになっています。汁物だけはお椀にあるそうですが、ご飯がプレートに盛られるということで当然親は食器を持ってご飯を食べよう言うと思いますが、せっかく保育所・幼稚園で食器を持って食べていたのが、また犬食い状態に戻ってしまうということで、ここは是非検討してほしいところ。です。

五点目が、文教都市に見合った設備と取り組みが分からないということで、結局市民に開放された設備や取り組み、市も市民もですが、「こういう施設があります。」と言うだけではなくて、市民レベルまで歩み寄っていかないと、「文教都市」というせっかく良い宣言をされているのですから、かなり大きい目標と感じております。

最後に、小中高一貫教育など特色ある教育制度がないので、「文教都市」を謳っておりますので魅力ある教育制度を是非検討して頂き、例えば音楽・スポーツ・学習でも良いですが、他市から「習志野市に住んでみたい。」という教育制度があれば、最終的に習志野市に住みたくなるというところに繋がるかと思っておりますので、そういったところを利用して市民が減るといった解決策にも繋がっていかねばならないところだと思います。

### 【学習・スポーツ・文化】

こちらは大きく分けて四つの意見が出ています。

まず一点目は、お年寄りが公園に魅力を感じないということで、先程の「児童」の部分もですが、老人用健康遊具等を公園に置いて、うまく老人に外に出てもらうといった取り組みをしていくといったところだと思います。そうすることにより気軽に公園が利用できて、先程のコミュニティづくりにつながるといった意見です。

二点目は農と食と健康文化の伝承が無い。習志野市は、以前のワークショップで出しましたが、ニンジンとネギというのが一つキーワードになっております。ですから、食文化学習と市民農園を随時開放していき、そういった取り組みをお願いできないかと思っております。料理教室の講師は、やはり老人パワーをうまく利用して、市民は参加していくといったところになります。

三点目ですが、大人が学習する機会を定期的に作ってほしいとか、生涯学習施設が少ない、市民カレッジの宣伝・活用が見えないといったところだと思います。これは何かと言いますと、結構市民カレッジを習志野市はやっているそうです。ただ、参加できる人数が少ないと言ったことや、逆に知らないといったところがありますので、市民カレッジは交流の場となりますから広めて頂きたいのと、せっかくカレッジを出たOB・OGの方がいらっしゃいますので、その方達の活用をして頂ければと思います。市民はやはり積極的に参加し、そうして広まればもっと増えるのではないかとこのところになります。

最後になりますが、スポーツ施設の利用料が高い、これはテニスコートの話が例に挙げりましたが、1800円とかなり高いということで、ここはやはり先程の「文教都市」といったところもありますから、民間との調整があるのかは知りませんが、まず率先して民間より安くして頂き、市民の健康増進ではないですが気軽に利用できる取り組みを是非ご検討して頂きたいといった意見が出ました。

## B班報告(リーダー:井上委員)

### 【子育て・子育て支援】

子育て・教育・学習ということですが、自分の子育ては終わってしまったのですが、やはり非常に重要な課題があると思います。今、共稼ぎの家庭が非常に多いということで、待機児童の方がいらっしゃるという話もあったのですが、保育所の数がやはり少ないということになるかと思います。以前、新聞に「住みやすいまち・住んでみたいまち」というアンケートがありました。こういったことも若い世帯が子育てしやすいまちの魅力として、充分アピールすることが出来るのではないかと思います。そのために保育所等を作るのは難しいかとは思いますが、今ある幼稚園に保育所を併設することで、保育所の不足を補えないかと考えています。あと子育てで、育児教室といったものがあるかと思いますが、そういう堅苦しいものではなくママ友作りが出来るような、お茶飲み会をしながら子育てしているお母さん方が情報交換できるといった場を市の方で設けて頂いて、子育てしやすいような環境を作ると、その時に市のサービスや情報も伝えることができるのではないかと思います。また、習志野市には児童館が一つあるそうですが、その他に公民館等で、子ども達に色々な遊戯を教えるといった充実を図ったら良いのではないかと思います。市民としては、お年寄りというか先輩としての色々な知識を若い子ども達に伝えていけるようなことが出来れば良いのではないかと思います。おせっかいと感じられてしまい難しいかもしれませんが、何か場があれば積極的に年配の方たちも知恵を貸してあげることが必要なのではないかという気がします。

### 【教育】

自殺等がニュースになっていますが、非常に深刻な問題であると思います。市の方でも色々な調査を行い認識しているとのことですが、当然認識はしているのですが、「うちは、いじめはありません。」と言うような学校は、おそらくいじめはないのだからそれに対する対策は行われていないと思います。習志野市では調査と、それに対応する対策を今後とも続けて頂きたいと思います。

教員の数が少ないと意見が出ましたが、今1クラス40人の教室がこれから35人になるとのことです。特殊学級は教師の数を抑えるとのことですが、大変かと思うのですが教師の数を増やして細かい気配り目配りを子ども達にしてもらえるような教育をして頂きたいと思います。あと、耐震に対する補強工事とかかされていますが、まだ完全ではありませんので、こちらも予算の関係もあって大変かと思いますが早期に進めて頂きたいです。

あと特色ある教育ということで、国際化ですとか、パソコン使用が当たり前になりますので、小学校から教育の中に取り入れて、習志野市としては先進的な教育をして頂きたいと思います。市立の某高校では授業で英語しか使わないそうで、すごい高校があると思いましたが、そこまでいかなくても、そういう機会・授業を市としてやって頂いても良

いのではないかと思います。中には小さい頃から英語など必要ないと言う方もいらっしゃる難しい問題もあるかと思いますが、できればこれから国際化していく社会の中で小さい頃から英語やパソコン操作等も慣れていくことが必要ではないかという気がします。市民といいますか家庭では、学校の道徳教育だけでなく、親から子どもへの色々な思いやり・優しさといった心の教育が必要ではないかと思います。それと地域による子どもの社会教育ですが、先程頑固親父の話が出ましたが、見て見ぬふりをするのではなくて、大人も子どもがやっていることを悪いと思ったら注意できる大人になる必要があるのではないかという気がします。

### 【学習】

子どもの学習ではなく、大人の学習ということですが、先程の英語がありましたが、大人は民間の英会話教室がありますが、非常に費用もかかりますので、気軽に何か学べる場所があれば良いのではないかと思います。あと、少数の教育ですが、先程1クラス35人になってくるとということもありますので、少数の教育を習志野市が率先してやって頂ければと思います。あと、農業体験ですが、市民農園という意見がありましたが充実して頂いて、農業体験できるものがあれば良いと思います。

図書館の充実ですが、中央図書館が無いということで、これも新しく建物を作るとなるとなかなか難しいのかもしれませんが、充実した図書館があれば良いと思います。他市ではツタヤが運営しているという話を聞きますが、実際どうなるか分かりませんが、蔵書が増えるといったメリットがあれば検討してみるのも面白いのではないかと思います。今、新習志野図書館は自習室がありますが、他の図書館にはそういうものは無く、あと図書館内の騒音やスペースの問題で本の置き場が無くなる等難しいと思いますが、絵本を置いて子ども達が少し騒いでも楽しめるようなスペースを設けて頂きたいと思います。

大学が習志野市にはいっぱいあるのですが、大学図書館やテニスコート等を市民に開放して頂きたいです。大学によっては図書館等を市民に開放しているところもあるそうですが、習志野市の場合は行政が間に入り交渉して頂ければと思います。あと、大学ツアーと意見がありましたが、せっかく大学が何校か周囲にありますので、子ども達を連れて将来その大学へ入学ということがあっても面白いのではないかと思います。

今、なかなか学校の先生が金銭的等の面で部活の顧問にならない・なりたがらない方がいるみたいですが、そんな中ボランティアで年配の方でも時間の余裕があって昔色々やられた方で、子ども達を指導しても良いと思っている方が中にはいらっしゃるかと思いますので、活用したら如何かと思います。あと、小中学校で広い校庭が沢山ありますので、平日はもちろん部活等で空きはないと思いますが、土・日二日間通して空いているような所があれば開放し、健康づくりや老人力の活用に繋がられないかと思います。

H24.10.06 第5回市民会議  
第4回 ワークショップ  
「子育て・教育・学習」

■子育て・教育・学習 A班

| 項目         | 課題   | 市が取り組むこと  | 市民が取り組むこと   |
|------------|--|---|---|
| 子育て・子育て支援  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・育児・保育に老人パワー・知恵の活用方針が無い。</li> <li>・親の交流・情報交換が進んでいない。</li> <li>・3歳の子供の行き場がない。</li> <li>・コミュニティが分からない。屋内施設→屋外へ。</li> <li>・昔、毎月乳児の身長・体重を計ってもらう機会があって、ママ友がたくさんできてありがたかったです。でも、今なくなってしまった。</li> <li>・公園の制限が多すぎる(ボール遊びNG, 木の使用NG)</li> <li>・花火やる場所がない。</li> <li>・待機児童(保育所待ち41名)</li> <li>・一回の負担料は増えてもいいので、医療費補助の年齢を引き上げてほしい。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・お年寄りが子供とふれあえる場・ルール作り</li> <li>・一方的な情報発信でなく、アンサーがある取り組み。</li> <li>・コミュニティの提供。</li> <li>・公園の制約を少なくする。</li> <li>・市として対応</li> <li>・保育に老人パワーを(短時間保育も)</li> </ul>                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育に老人パワーが参加。</li> <li>・ネットワーク作り。</li> <li>・広報誌をチェックする。</li> <li>・情報収集。</li> <li>・自発的な行動。</li> <li>・子育ては親・地域が責任をもって行う。</li> <li>・“子ども”に寛容に。地域住民も一緒に子育てしてほしい。制限の前に叱る。</li> <li>・ファミリーサポートの活用。</li> <li>・病院を安易に利用しない。</li> </ul> |
| 学校・幼児教育    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学社融合の広まり、方針が見えない。</li> <li>・幼児・学校の家庭教育学級はありがたいです。幼：もっと多くの人に参加できるように。学：もっと多くの人に参加してほしい。</li> <li>・図書館の本が充実しているのは嬉しい。特色のある蔵書集めがあっても良いかも(専門書)</li> <li>・学校給食の食器を幼稚園や保育園と同じようにしてほしい(犬食いに戻る)</li> <li>・「文教都市」に見合った設備・取組みが分からない。</li> <li>・(小中高)一貫教育など特色ある教育制度が無い。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・空校舎の市民開放。責任のある組織化</li> <li>・人数枠・回数を増やして欲しい。</li> <li>・専門書など増やす。</li> <li>・1ヶ所、上のレベルで集めた施設。</li> <li>・ワンプレートをやめる(食育)</li> <li>・市民に開放された設備・取組み。</li> <li>・魅力ある教育制度・音楽・スポーツ・学習。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織化された自主活動。</li> <li>・参加したい。</li> <li>・利用する。</li> <li>・情報収集。</li> <li>・習志野に住みたい。</li> </ul>   |
| 学習・スポーツ・文化 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・お年寄りが公園に魅力を感じない。</li> <li>・農と食と健康文化の伝承がない。</li> <li>・大人が学習する機会を定期的に作ってほしい。</li> <li>・生涯学習施設が少ない。</li> <li>・市民カレッジの宣伝・活用が見えない。</li> <li>・スポーツ施設の利用料が高い。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・老人用健康遊具を設置。</li> <li>・食文化学習と市民農園の開放。</li> <li>・カレッジの広まりとボランティア活用(OB, OG)</li> <li>・民間より安い・無料化(市民)→チケット制度</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・気軽に公園を利用する。</li> <li>・料理教室の講師をする(老人パワー)</li> <li>・積極参加。</li> </ul>  |

■子育て・教育・学習 B班

| 項目        | 課題  | 市が取り組むこと   | 市民が取り組むこと  |
|-----------|---|--|--|
| 子育て・子育て支援 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代(若い世代)に魅力ある町(転入)</li> <li>・絵本創り</li> <li>・公園は多いが、あそぶものが少ない(広い場所に滑り台のみとか)</li> <li>・母親の就労支援と父親の協力</li> <li>・遊場の確保(規制?)</li> <li>・本の読み聞かせ</li> <li>・親子で行ける図書館</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・育児教室で行政サービスの情報</li> <li>・児童館の充実</li> <li>・JRの子育て支援のパートナーシップとしての連携(市)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ママ友作り</li> <li>・老人力(先輩としての知識の活用)</li> <li>・育児施設</li> </ul>                     |
| 教育        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ</li> <li>・教職員が少なすぎる(若手)</li> <li>・県と市の役割分担</li> <li>・施設の充実(老朽化)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・登下校の安全の確保</li> <li>・英語・パソコン。小学生からの推進(特色ある教育)</li> <li>・教育の機会均等</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域による子供の社会教育</li> <li>・学区割(通学距離・学力)</li> <li>・親から子どもへの心の教育。思いやりと優しさ</li> </ul> |
| 学習        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数教育</li> <li>・語学を気軽に学べる場がほしい</li> <li>・農業体験</li> <li>・個性を活かす</li> <li>・市民図書館の充実</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の充実</li> <li>・図書館の運営を民間に任せる</li> <li>・スポーツ施設の整備・充実</li> <li>・自習の出来る場所の充実</li> <li>・大学の施設の活用。図書館等</li> <li>・大学ツアー</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校の校庭の活用(土・日)。ボランティアによるクラブ活動</li> </ul>                                     |